

東南アジアの自然と農業研究会

第 97 回研究会のご案内

第 97 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学農学部雑草学研究室の 三浦 励一 氏に下記の内容のように報告していただきます。皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2000 年 10 月 20 日（金）午後 4 時～午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 共同棟 3 階セミナー室
（ご注意！いつもの場所と違います。）
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め
話題提供者： 三浦 励一 氏
話 題： 「西アフリカにおける野生イネ科穀粒の採集利用」

～要旨～

農耕発祥のプロセスを推定するひとつの方法として、現在観察できる多様な事例を時系列にならべかえてみたいとする。カリフ農耕の場合、そこで最初に置かれるのは、草原で野生のイネ科穀粒を採集する段階である。西アフリカの半乾燥地域においては、近代以降もなおそのような事例が広く見られる。

とはいいいながら、今回発表できることは私が西アフリカを訪れた際に得た、若干の見聞録にすぎない。むしろ材料を共有することを目的として、どのような種がどのような環境下で生育し、また利用されているのかをスライドを用いて紹介したい。作物、雑草、野生の 3 変種がみられるトウジンビエや、浮きイネに似た生育型をもつ野生ヒエなどが話の中心となる。

問い合わせ先：

富田晋介 京都大学農学研究科地域環境科学専攻

Tel. 075-753-6352 mailto: tomita@kais.kyoto-u.ac.jp

柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター

Tel. 075-753-7345 mailto: masa@cseas.kyoto-u.ac.jp